

まちづくり基本調査

1200万円

水害の大きかった虎居地区の23軒について、区画整理の基本計画書作成（関連8ページに掲載）



基本調査が行われる虎居地区

災害復興対策室を課に

「被災者支援」「復興・防災対策」は町政の重要な課題であり、これに的確に対応していくために、4月1日から「災害復興対策室」を「災害復興対策課」に改めました。

災害復興対策課には、河川激特事業や復興対策についての事務を行う「災害復興対策係」と都市計画、公園・緑地に関する事務を行う「まちづくり係」の2係が設置されました。

永野鉄道記念館に

指定管理者制度を導入

永野鉄道記念館の管理運営について、指定管理者制度を導入するため、関係条例の改正を行い、永野地区の丁町婦人会を指定管理者にしました。期間は、平成19年4月1日から平成24年3月31日までの5年間で、

平成18年度の最終補正

一般会計 総額172億8546万円

3月定例会で、平成18年度予算について、各種事業の確定や実績見込みによる経費の増減に伴う予算の補正を行いました。

会計名		補正後の予算総額
一般会計		172億8,546万円
特別会計	国民健康保険事業	33億4,228万円
	老人保健医療	50億8,883万円
	介護保険事業	25億4,194万円
	介護サービス事業	1,304万円
	町立薩摩診療所	1億5,031万円
	農業集落排水事業	6,153万円
	水道事業（支出総額）	1億4,570万円
事業会計	簡易水道事業（支出総額）	3億8,352万円

2月臨時会のあらまし

臨時会を2月21日に開催しました。工事請負契約締結、一般会計補正予算、特別会計補正予算を審議しました。審査の結果、提案された議案すべてを可決しました。

一般会計補正予算では、町民センターつるだ荘関係の施設内設備等補償金294万9000円について「水害、耐震性の問題により閉鎖したことに伴い、受託者が管理運営のため購入した備品等の補償処理について弁護士に相談をした結果、残存価格について考慮すべきとの指導による予算。」である旨の説明がありました。

このことについて討論があり、原案に反対の立場から「町がこれを補償することを議会が認めた約定書がないことや、水害で財産を失った他の多くの被災者と立場は変わらないのに、特定の人に法

に基づかない不公平な償いをしようとすることは認めめることは出来ない。」との意見がありました。また、賛成の立場から「受託者は、町が購入すべき備品を買ったり、今までいろいろな無理をお願いしてきた経緯もあるので、その辺を考慮して、認めていただきたい。」との意見がありました。

採決の結果、賛成24人、

反対1人で、一般会計補正予算は原案のとおり可決されました。